



なぜ、いま、地域はDXをしないと いけないのか？

岩手県立大学 学長特別補佐 松野茂樹

自己紹介

松野茂樹 Shigeki MATSUNO



公立大学法人 岩手県立大学 学長特別補佐

国立大学法人 信州大学

情報・DX推進機構 DX推進センター 特任教授

株式会社チェンジホールディングス

シニアエグゼクティブアドバイザー

株式会社シグマプラス 代表取締役社長

23年3月をもって、KDDI株式会社 理事 および
KDDIラーニング株式会社 代表取締役社長を退任

KDDI時代はベンチャー企業を含む企業への出資・M&A、地方創生、
人材育成（特にDX人材育成など）を担当



<https://www.facebook.com/shigeki.matsuno>

地域でITを実装していくためには・・・地域でそれを支える企業が必要 地域に必要な人財創出が必要

起業家人財



ICTを支える人財



ICTを使いこなす人財



ICTを活用し、新たな
ビジネスを展開する人財

AIやIoT等を駆使する
エンジニア

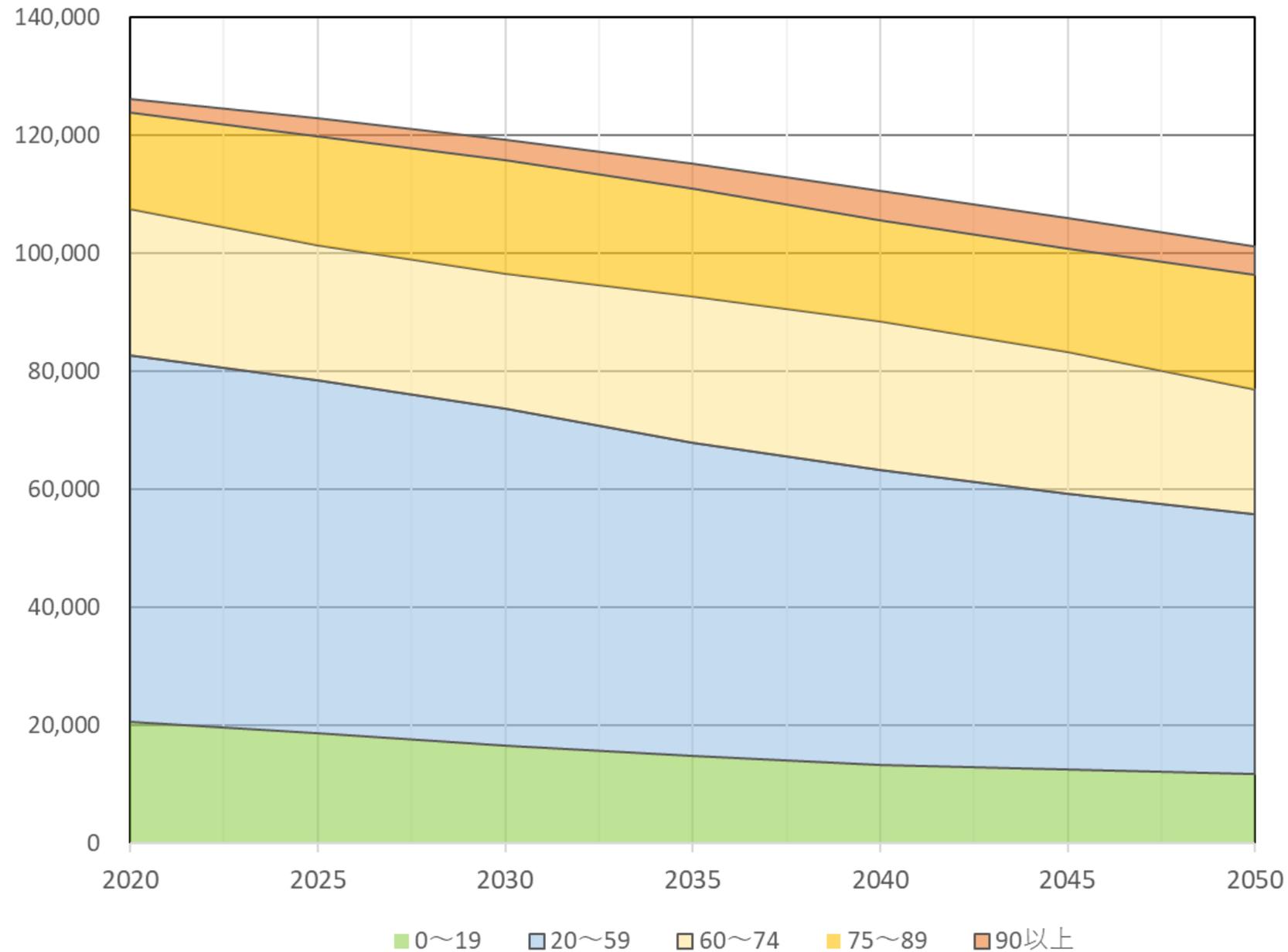
地域企業でDXを推進する
人財

2019年7月25日

岩手県立大学とKDDI、地域産業の高度化に向けた包括的連携協定を締結



日本の人口減少と年代別人口比率



日本全体の問題

少子高齢化

人口減 { 生産人口減
消費人口減



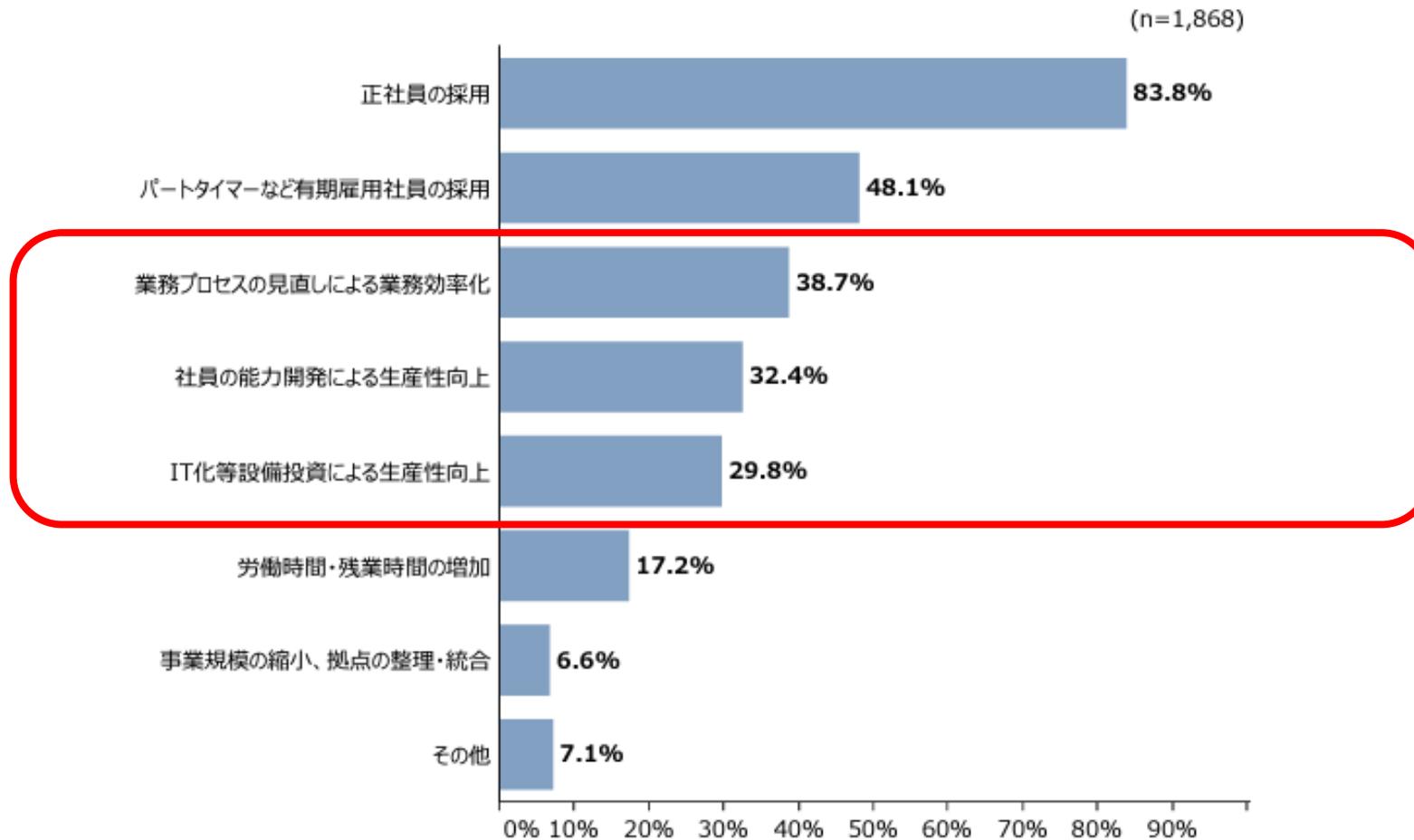
産業の空洞化

人口減は「事実」 (もはや「課題」ではない:緩和はできるが解決できない)



人手不足への対処=DXしかない

第1-1-23図 人手不足への対応方法



資料：日本商工会議所・東京商工会議所「人手不足の状況および新卒採用・インターンシップの実施状況に関する調査」（2022年7～8月）

（注）複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

既存商圏の売上減への対処=DXしかない

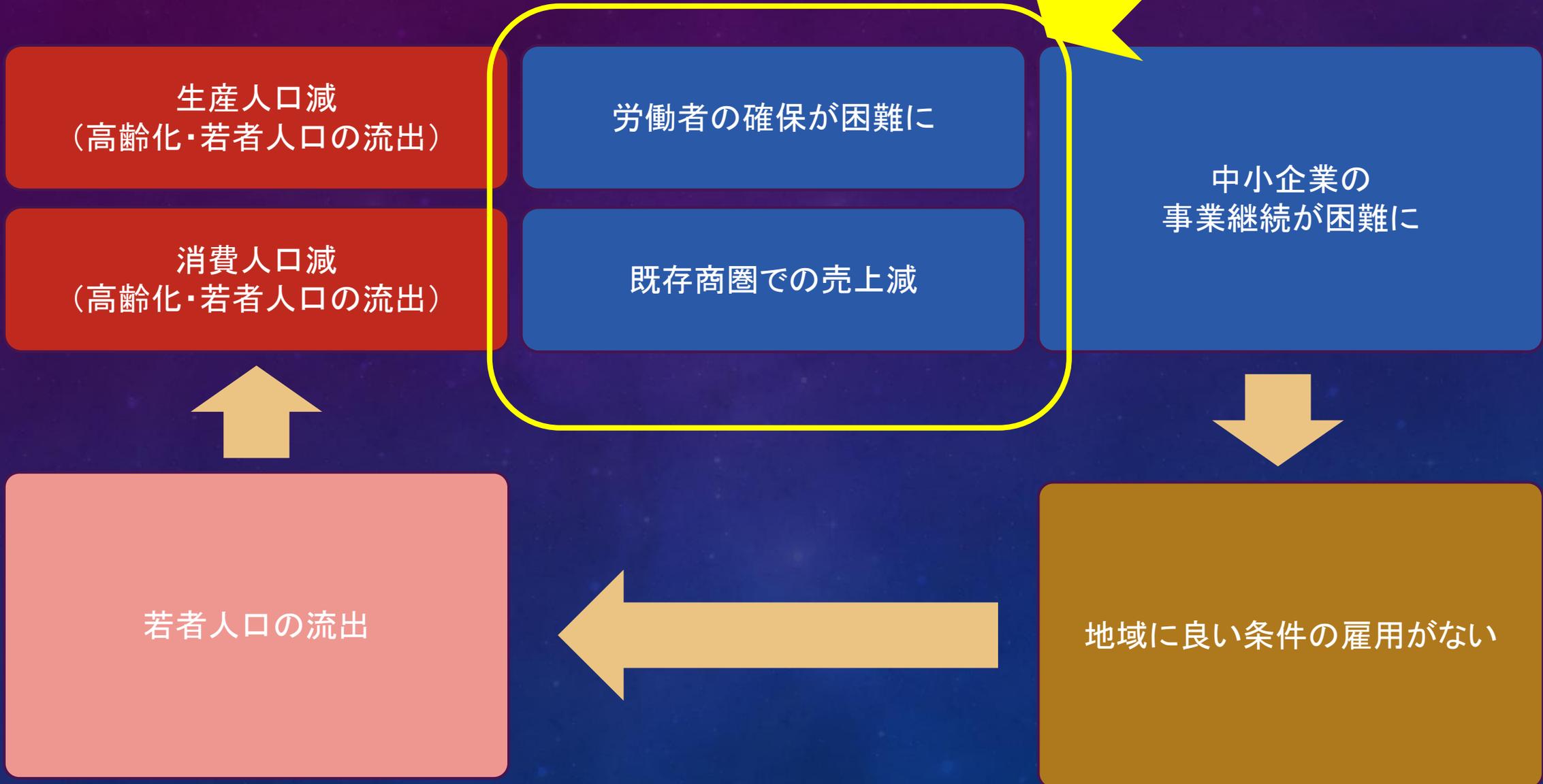


グローバル企業になる

インバウンドマーケティング

解決すべき課題はこの部分

DXで解決



1つ目の理由

人口減少の負のスパイラルを止めるため

DXって何？

DIGITIZATION (デジタイゼーション)

情報のデジタル化

DIGITALIZATION (デジタライゼーション)

産業や組織におけるデジタル技術適用
(産業や組織のプロセスの变革)

DIGITAL TRANSFORMATION

産業や組織のDIGITALIZATIONの影響による
社会や経済の变化・变革

広義の**DX**

DIGITAL TRANSFORMATION

AIとIoTとロボティクスは人間の能力を拡張する （「モビルスーツ」のようなもの）

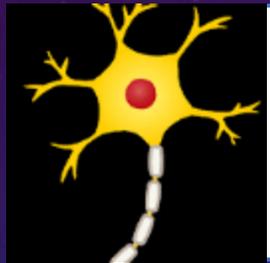


脳



AI

Singularity
“2045年？”



神経



IoT

5G
高速・大容量
多接続
低遅延



筋肉



Robotics

大型建機
ドローン
自動運転制御

ただし、DX(DIGITALIZATION)は
デジタルツールを使うことだけではない



効率化や省力化・生産性向上のために
産業や組織の仕事の**プロセスの見直し**が必要

それをやるための**人と組織の変革**

現代は、VUCAの時代



V : Volatility	変動性
U : Uncertainty	不確実性
C : Complexity	複雑性
A : Ambiguity	曖昧性

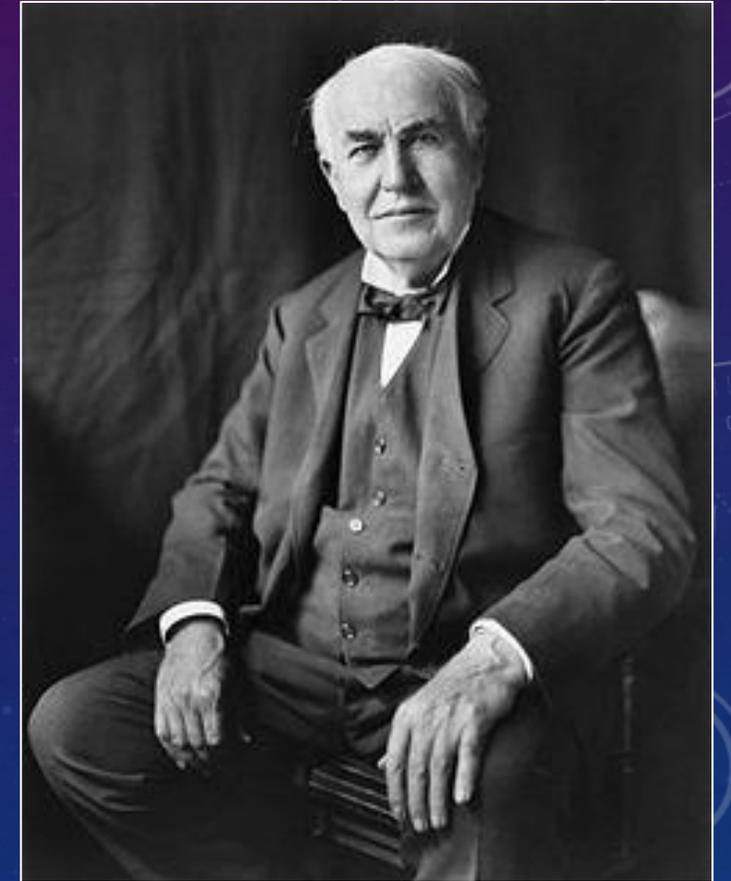
正解がわからない ジャングルや迷路の中を歩くようなもの

正解がわからない時代に正解を見つけるには

I have not failed. I've just found 10,000 ways that won't work.

私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。

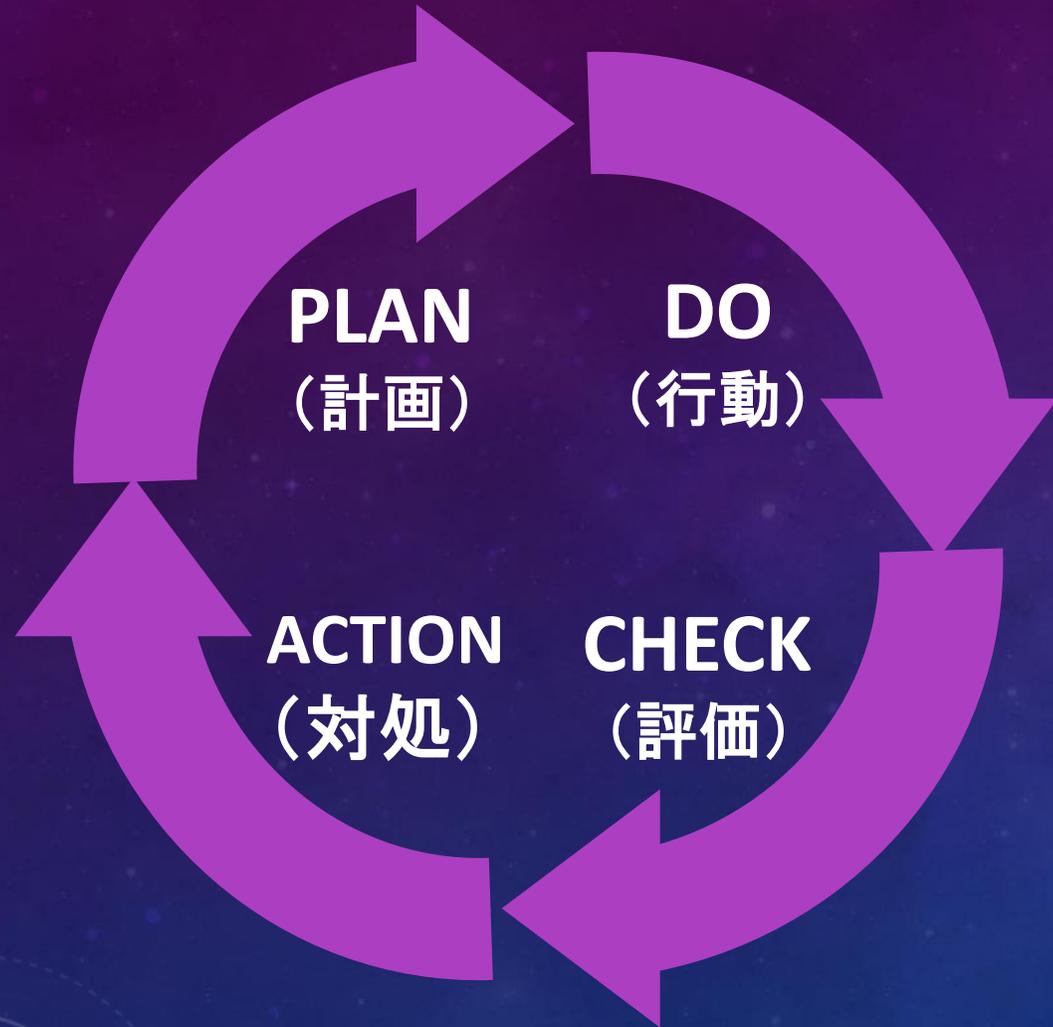
- Thomas Edison (トーマス・エジソン) -



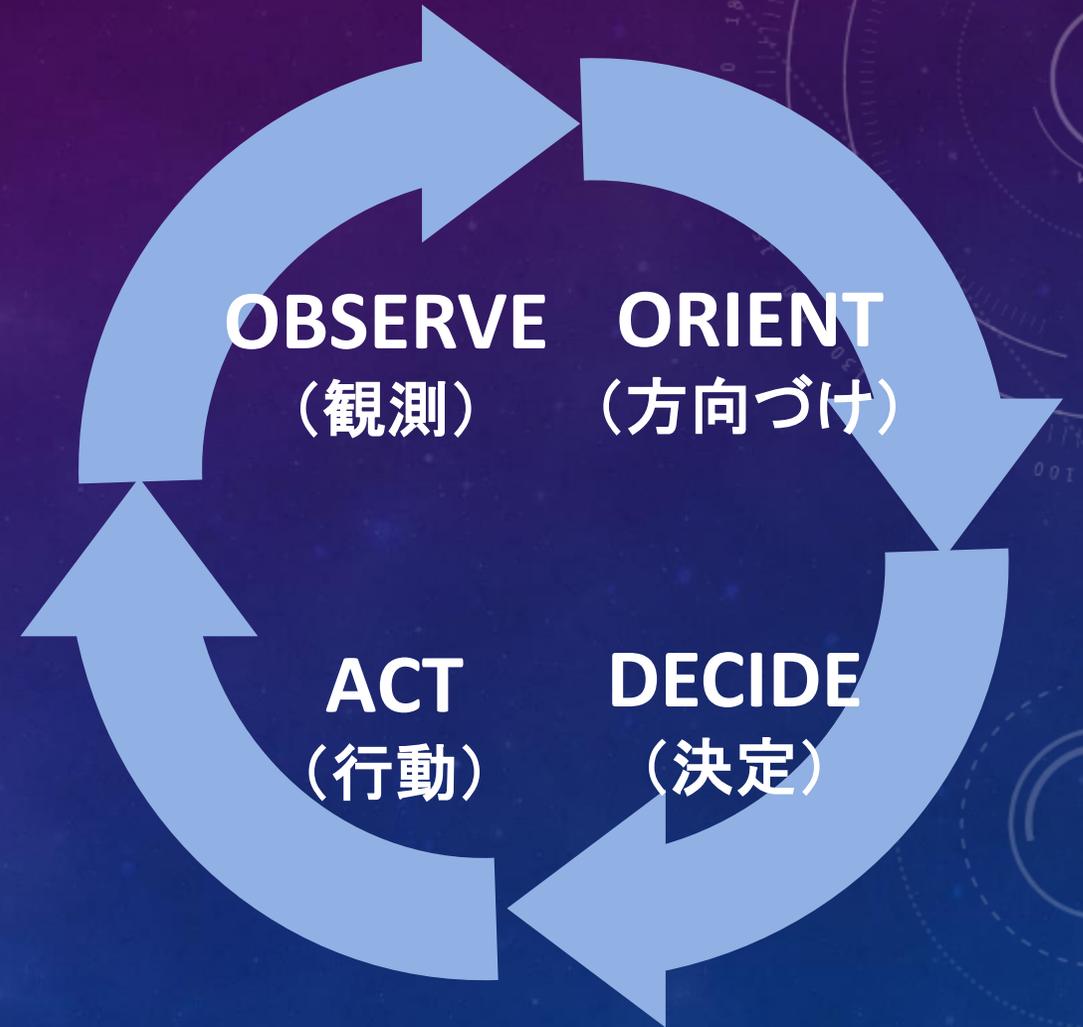
早く成功するためには、できるだけ早く多くの小さな失敗をすること

FAIL FAST

PDCAループ ⇒ OODAループ

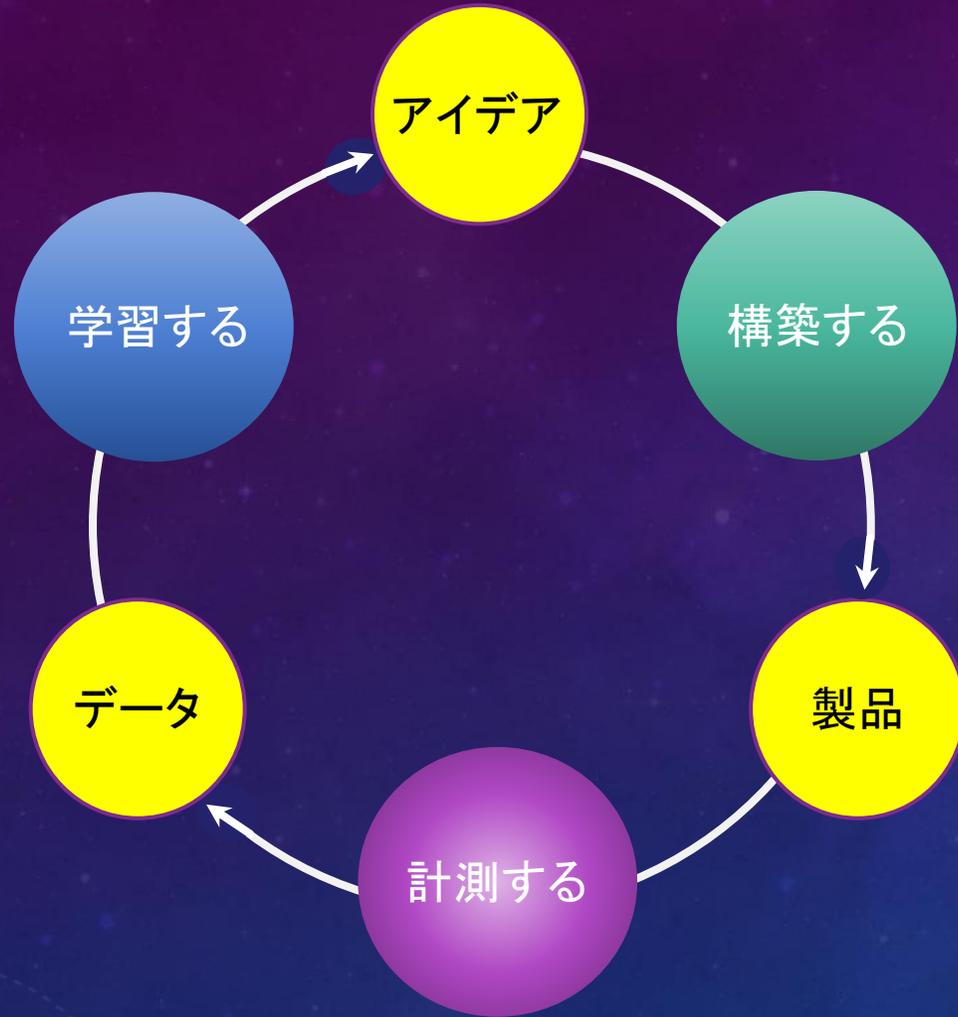


ほぼ、正解がわかっている、
環境がほとんど変わらない時のやり方

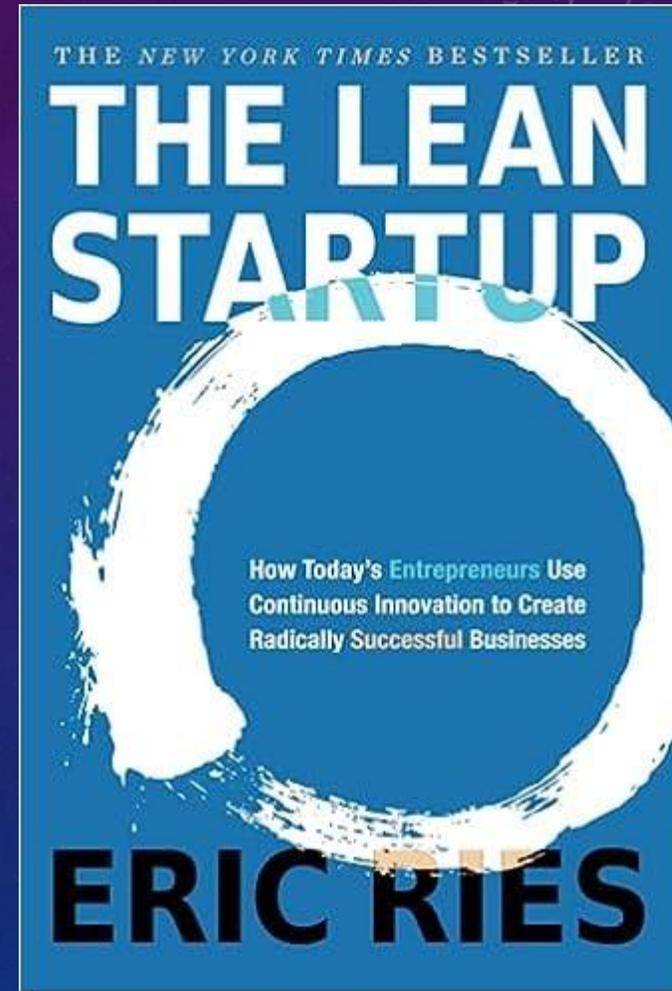


正解がわからないとき・変化が激しい時のやり方

リーンスタートアップ



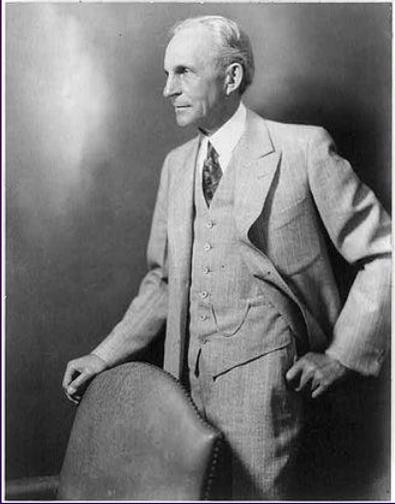
スタートアップのサービスの導入のための手法



エリック・リース 「リーン・スタートアップ」

変化の時代に対応する正解(イノベーション)を見つける手法

馬から自動車や鉄道に運輸手段が変わったとき



“If I had asked people what they wanted,
they would have said faster horses.” Henry Ford

大衆に何が欲しいかと訊いたら、「速い馬がほしい」と言っただろう。ヘンリー・フォード

マーケットリサーチでは、イノベーションは出てこない
やりたいことの本質を見極める「デザイン思考」

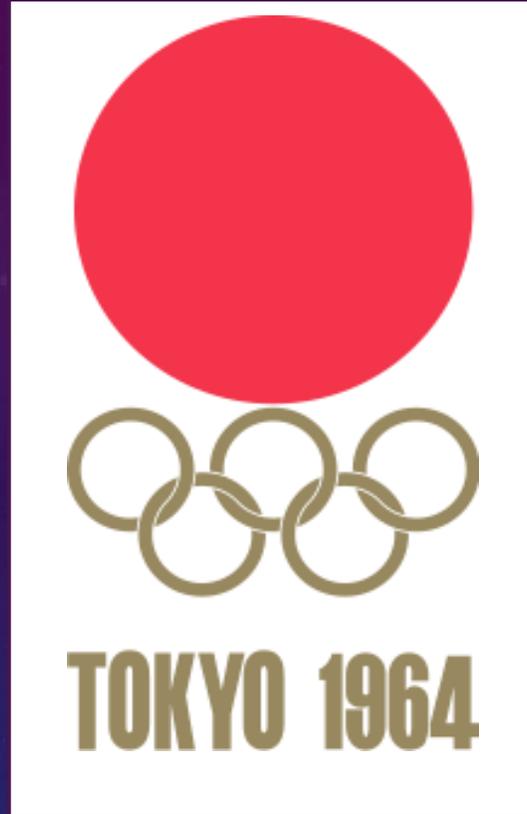


“ It is not the owner of stage coaches who builds railways”.”
Joseph Schumpeter

鉄道を建設したのは、駅馬車をやっている人たちではない
ヨゼフ・シュンペーター

既存の事業者からは、イノベーションは生まれない
外部の情報や視点との接点が重要「オープンイノベーション」

20世紀(昭和)とは違う

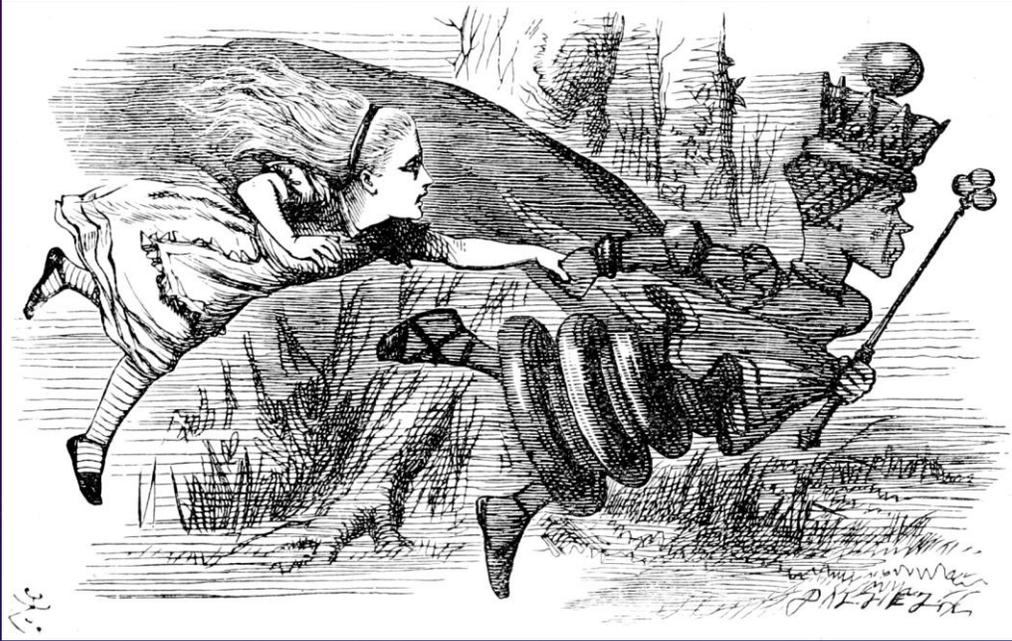


20世紀(昭和)の時代から同じようにやっていることや
昭和の時代から使っているものを見直してみよう

20世紀(昭和)と21世紀(令和)の違い

	20世紀(昭和)	21世紀(令和)
仕事のツール DIGITIZATION	FAX	スマートフォン
	電子メール 紙での告知	LINE SLACK SNS その他アプリ
	デスクトップPC	タブレット端末 ノートPC
	会議室に集まったの会議	リモート会議
	テレビCM 新聞広告	ネット広告 SNSでのプロモーション
	PCのスタンドアロン利用	PC等のクラウドでの利用
	数度の会議や上司による資料の改良	AIツールの活用による資料の改良
	目視と手書きによるデータの転記	RPAなどを使ったオンラインでのデータ収集
仕事のやり方 DIGITALIZATION	失敗を許さない組織文化	失敗を許容してスピードを重視する組織文化
	完璧な計画と実行による完成	アジャイルな対応による進化
	オフィス・組織内での仕事重視	外部情報と現場情報の重視
	オフィスに出社しての仕事	自宅や外出先でのリモートワーク
	過去の成功体験に基づく仕事	客観的データに基づく仕事(常に進化して検証)
	上司は指示・命令するのが役目	上司は変革を支持・支援するのが役目
	定型フォーマット・文書での依頼	デザイン思考・行動経済学の援用(ナッジ等)

変化に対応しなければ、生き残れない

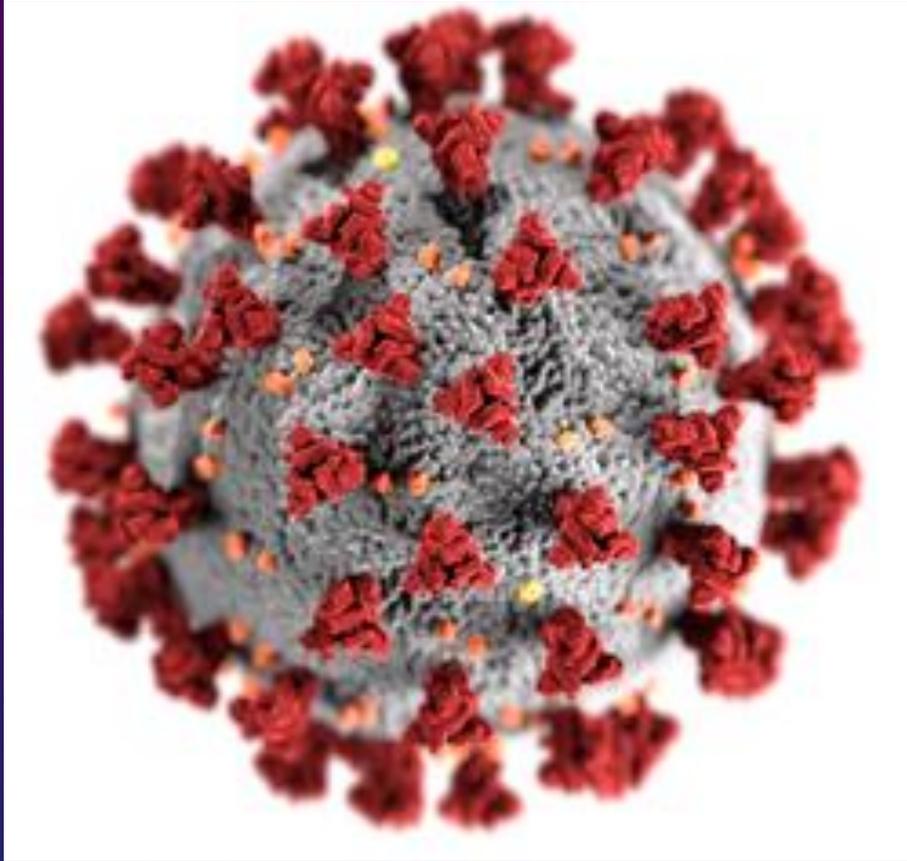


Now, here, you see,
it takes all the running you can do,
to keep in the same place.

「その場にとどまるためには、
全力で走り続けなければならない」

赤の女王のセリフ ルイス・キャロル 「鏡の国のアリス」より

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の影響



COVID-19の世界的流行



これによって世界が変わった

コロナの前と後でなにが変わったのか？



物理的に接触しない



移動しない



バーチャルの世界で

制約が生じたので
何とかしようとする



リモート〇〇

なんとかしなければ！ がチャンス

before **CORONA**



after **CORONA**



本質的に重要なこと以外を**抜本的**に見直す／捨てる

TRANSFORMATIONが重要

効率化・生産性向上のためには
本質的に重要なこと以外を**抜本的に見直す／捨てる**

これが実はデジタルトランスフォーメーション(DX)の重要な要素。

これまでDXを阻んできたものは

「テクノロジーについての**忌避**」と

「いままでのやり方への**固執**」



これまでDXを阻んできたものは
「テクノロジーについての**忌避**」と
「いままでのやり方への**固執**」

この壁が崩れた



“In the Chinese language, the word “**crisis**“ is composed of two characters, one representing **danger** and the other, **opportunity**.”

危機

John Fitzgerald Kennedy

The 36th President of the United States of America

中国語では、「危機」という言葉は2つの漢字からなっています。一つは「危険」を意味する文字。そしてもう一つは「機会」を表しています。

第36代アメリカ大統領 ジョン・フィッツジェラルド・ケネディ

今が「チャンス」!

2つ目の理由

世界の変化「正解のない時代」に対して DXを契機に人と組織が変わる必要

- ◆DXを契機に「正解のない時代」に対応できる人と組織になっていく
- ◆「正解のない時代」にはデータを使ってOODAループを回していく必要
- ◆オープンイノベーションなどについてもデジタルツールを使うことでやりやすく

DXを進めるための鉄則

- (1) 常にテクノロジーと環境は進化・変化しつづけますので、常に学ぶ姿勢と情報収集が必要です。(継続学習の原則)
- (2) 正解がない時代ですので、「必ず成功するやり方をしっかり作ってやる」という姿勢よりとりあえずやってみて、小さな失敗をできるだけ早くやり続けて正解を見出すという姿勢が必要です。(リーンスタートアップの原則／アジャイル開発の原則)
- (3) 過去にやってきたことは忘れて、本来やりたかったことの本質を見極め、その実現を中心に考えましょう。(デザインシンキングの原則)
- (4) DXはデジタルが重要なのではなく「仕事のやり方」の変革がメイン。これを進めるためには、首長から担当まで(役所だけでなく、議会・市民も)すべての人が「昭和のやり方」からの脱却が必要だということを理解することが必要です。(上から下まで全員理解の法則)

DXを進めるための鉄則

- (5) 正解が分からないので、実践した結果を含めて客観的なデータで説明する必要があります。なお、「統計学」の知識は必須です。(データ・統計重視の原則)
- (6) 外部との接点をつくりどんどん外部の情報を取り入れましょう。すべて自分たちでやろうとせず外のを借りましょう。(オープンイノベーションの原則)
- (7) 上司の役割は従来の指示型リーダーシップから、変革を推進するビジョナリーなリーダーシップへの移行が必要。(変革支持のリーダーシップの原則)
- (8) 長年やってきたことについて、すべて見直しましょう。(脱「昭和」の原則)

国のDXへの取り組みの本格化



“SOCIETY 5.0” (2016～2020) から “DIGIDEN” (2023～2027) へ

「テクノロジーによって、社会課題(労働人口の減少など)の解決をすることによって、サステナブルな社会を作りそれを日本の産業の強みにしていく。これによって経済発展と社会課題の解決を両立する。」

- Society5.0として提唱された考え方が「**デジタル田園都市国家構想**」に引き継がれている。



デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
 スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
 「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
 結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
 教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
 デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
 デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
 デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等

2 人の流れをつくる

「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等



3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等

4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等





デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

1 デジタル基盤の整備

デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等

2 デジタル人材の育成・確保

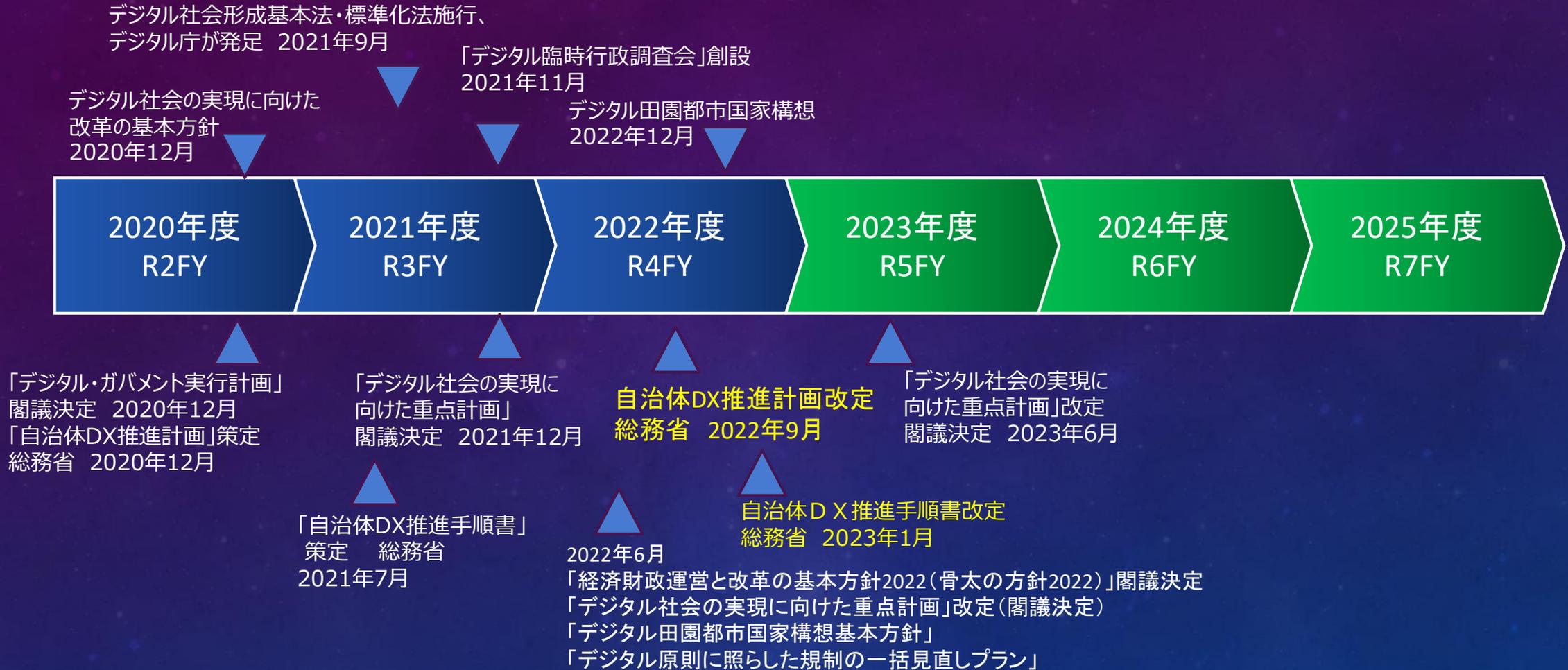
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等

3 誰一人取り残されないための取組

デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事業等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



国の取り組みと自治体DX推進計画



自治体DX推進計画(総務省 2022年9月改定)

政府決定(ビジョン)

デジタルの活用により一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会
～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」(2020年12月25日閣議決定)

自治体DXの目的

- 自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる
 - デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていく
- ✓ DXを推進するに当たっては、住民等とその意義を共有しながら進めていくことも重要。
 - ✓ データは価値創造の源泉。共有データの様式の統一化等を図り、多様な主体によるデータの円滑な利用を促進することによって、EBPM (Evidence-Based Policy Making) 等により行政の効率化・高度化を図る。
 - ✓ 多様な主体との連携により民間のデジタル・ビジネスなど新たな価値等が創出されることにより、我が国の持続的かつ健全な発展、国際競争力の強化にも繋がっていくことが期待される。

皇国の興廃この一戦にあり



自治体・地域に求められる主体的な取り組み

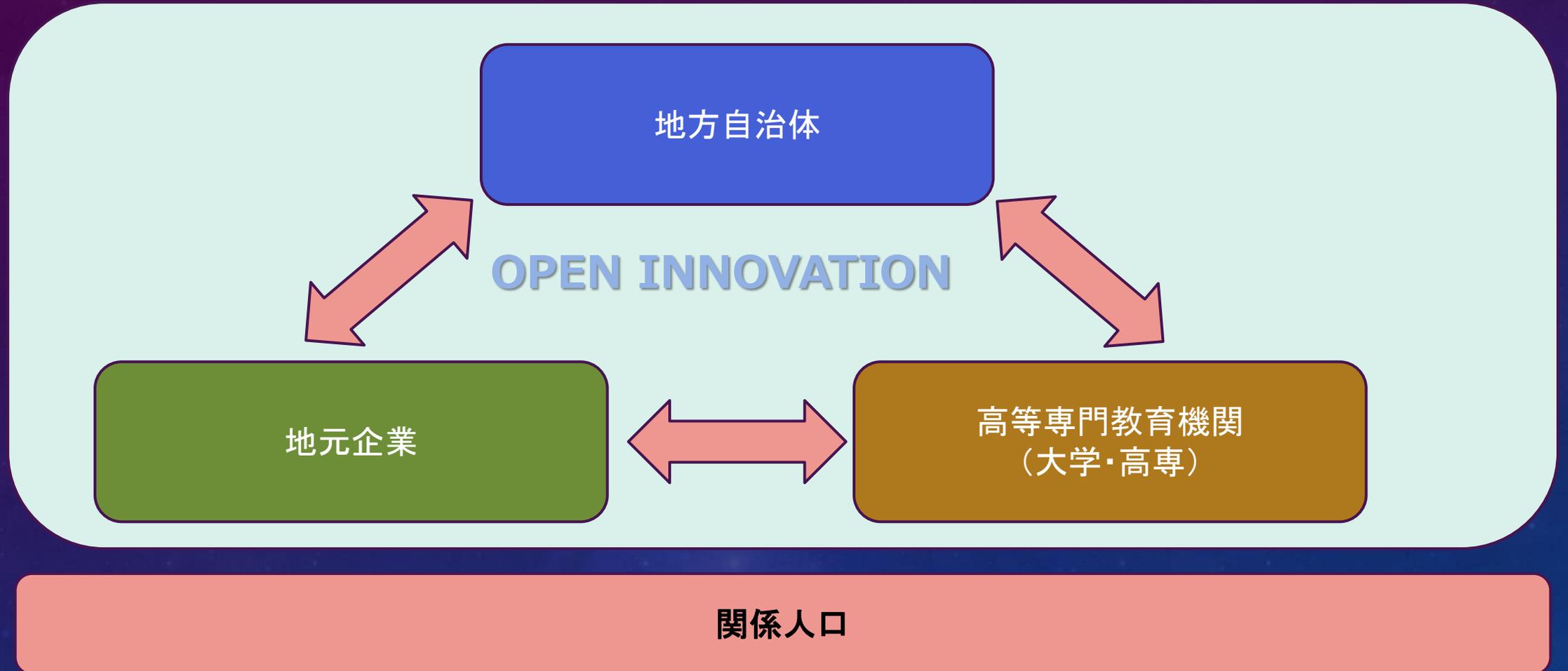
基本的には地域の課題にDXで対処したり、自治体業務のDXを進めていくのは あくまでも自治体 である。

国が個別にDXを指導してくれるわけではない。各自治体が 各地域に適した形でDXを考えて、それぞれのDXを進めていく必要がある。

DXの体制・人材確保もそれぞれの自治体を用意する必要。
(総務省は支援する)

「誰も取り残さない」と言っているが、努力しなければ救われない。

地域のプレイヤー間の密接な連携でDXを地域に根付かせる



地域外の関係人口をどう巻き込んでいくかもポイント

3つ目の理由

国も「最後の戦い」で本腰。

しかし、それをやらなければならないのは
地域の自治体 努力しなければ救われない



Chat GPTなどの 「生成系AI」がもたらす革命

生成AI(Generative AI) のいろいろ

画像作成



<https://stablediffusionweb.com/>

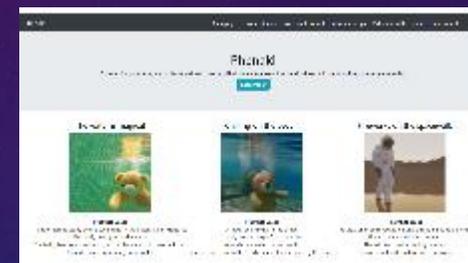


<https://www.midjourney.com/home/>

動画作成



<https://makeavideo.studio/>



<https://phenaki.video/>

音声作成



<https://vall-e.io/>



<https://readspeaker.jp/>

文章作成



<https://openai.com/blog/chatgpt>



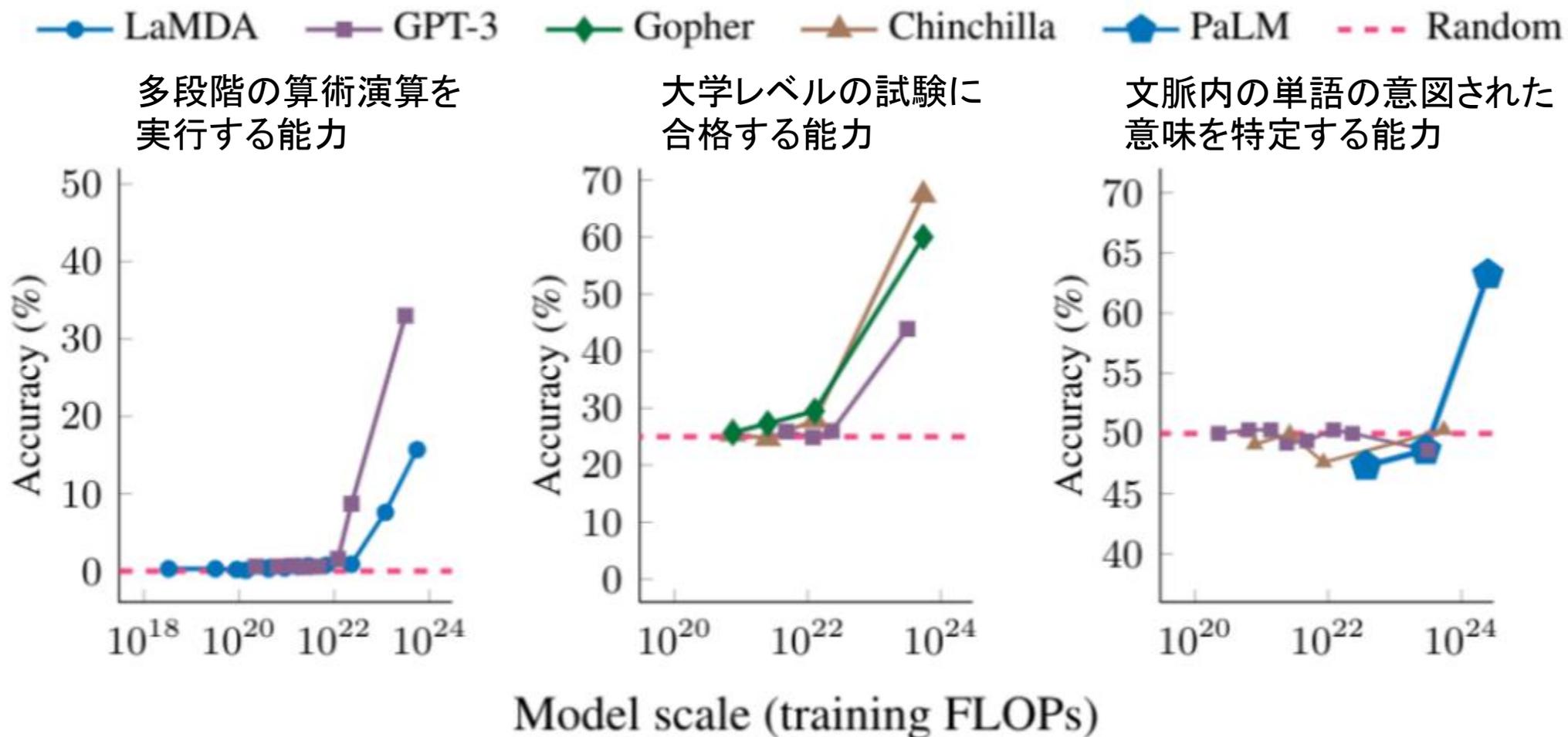
<https://openai.com/research/whisper>

その他、楽曲作成など、さまざま

学者もびっくりした

「大規模言語モデルにおける創発現象(Emergent Phenomena)」

LLMのAIモデルでは 学習量が一定の閾値を超えると 劇的に能力が急上昇することが判明！



OpenAI社の大規模言語モデルの進化

2015年12月11日、サム・アルトマン、イーロン・マスクらによってOpenAI Inc.がサンフランシスコで設立

2018年6月11日 GPT-1 (Generative Pre-trained Transformer) パラメータ数 1億1700万

2019年2月14日 GPT-2 パラメータ数 15億

2020年6月11日 GPT-3 パラメータ数 1750億

2022年3月15日 GPT-3.5 パラメータ数 1750億? (非公表)

(2022年11月30日 ChatGPT リリース (GPT-3.5を使用し、教師あり学習とRLHFでファインチューニング)

2023年3月14日 GPT-4 パラメータ数 1兆個? (非公表)

パラメータ数は確率計算をする為の係数の集合体の大きさを表す。数字が大きいほど高度なデータ処理が可能

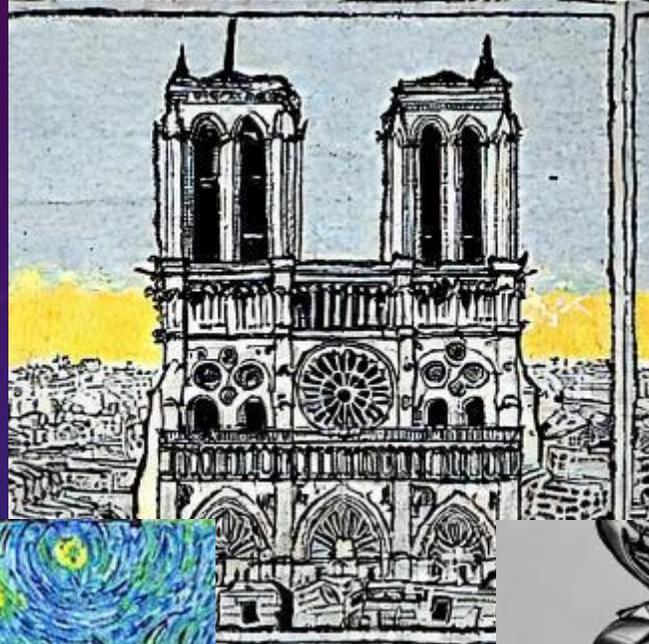
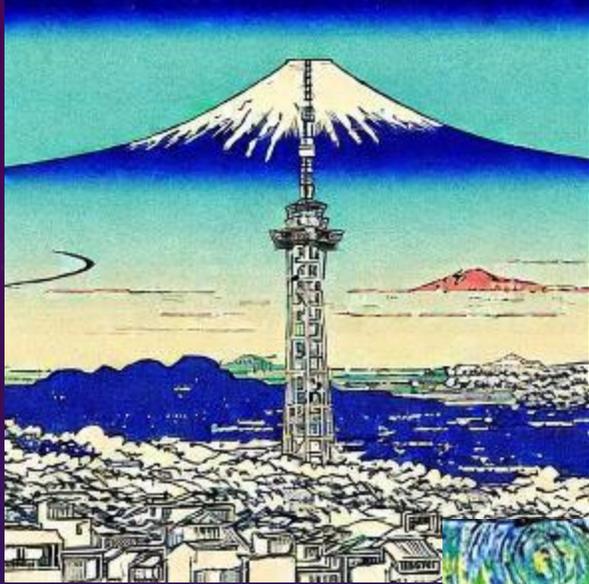
<https://www.namepepper.com/chatgpt-users> を参照

2022年「生成系AIの革命年」 The Year of Generative AI

- 2022年7月13日 Midjourney オープンベータ版への移行を発表
- 2022年8月22日 Stable Diffusionの初版リリース
- 2022年10月17日 Stable DiffusionのStability AI社がベンチャーファンドから1億100万米ドルを調達
- 2022年11月30日 ChatGPTがプロトタイプとして公開
- 2022年12月21日 ChatGPTについてGoogle幹部がCode Redを宣言したことをNew York Timesが報道
- 2023年1月6日 MicrosoftがOpenAIに約100億米ドルを追加投資することがBloombergで報道
- 2023年2月6日 Googleが「Bard」を発表
- 2023年3月14日 GPT-4 リリース
- 2023年3月16日 Microsoft、Microsoft 365 Copilotを発表
- 2023年3月20日 トランプ大統領が逮捕されるというフェイク画像がTwitterに投稿。世界中に拡散
- 2023年3月30日 Future of Life Instituteが、強力なAIシステムの開発を少なくとも6か月間停止するよう要求することを発表。（イーロン・マスク、スティーヴ・ウォズニアック、エヴァン・シャープなども賛同を表明）
- 2023年4月3日 東京大学の太田邦史・理事・副学長（教育・情報担当）が「生成系AI（ChatGPT, BingAI, Bard, Midjourney, Stable Diffusion等）について」という論考を発表
- 2023年4月10日 OpenAIのサム・アルトマンCEOが来日し、岸田首相と面会
- 2023年4月18日 横須賀市が自治体初のChatGPTの全庁的な活用実証を開始（6/5中間報告）
- 2023年5月20日 G7広島サミット首脳宣言で生成系AIへの対処として「広島AIプロセス」（閣僚間議論の実施）を発表
- 2023年5月23日 Microsoftの検索エンジンBingをChatGPTに統合することを発表
- 2023年5月25日 ChatGPTのiOSアプリのリリース（米国では5/18）

STABLE DIFFUSION

<https://stablediffusionweb.com/#demo>



2015年 野村総研 AI時代になくなる可能性が高い仕事

AI・ロボットによる代替可能性が低い職業の例(抜粋)

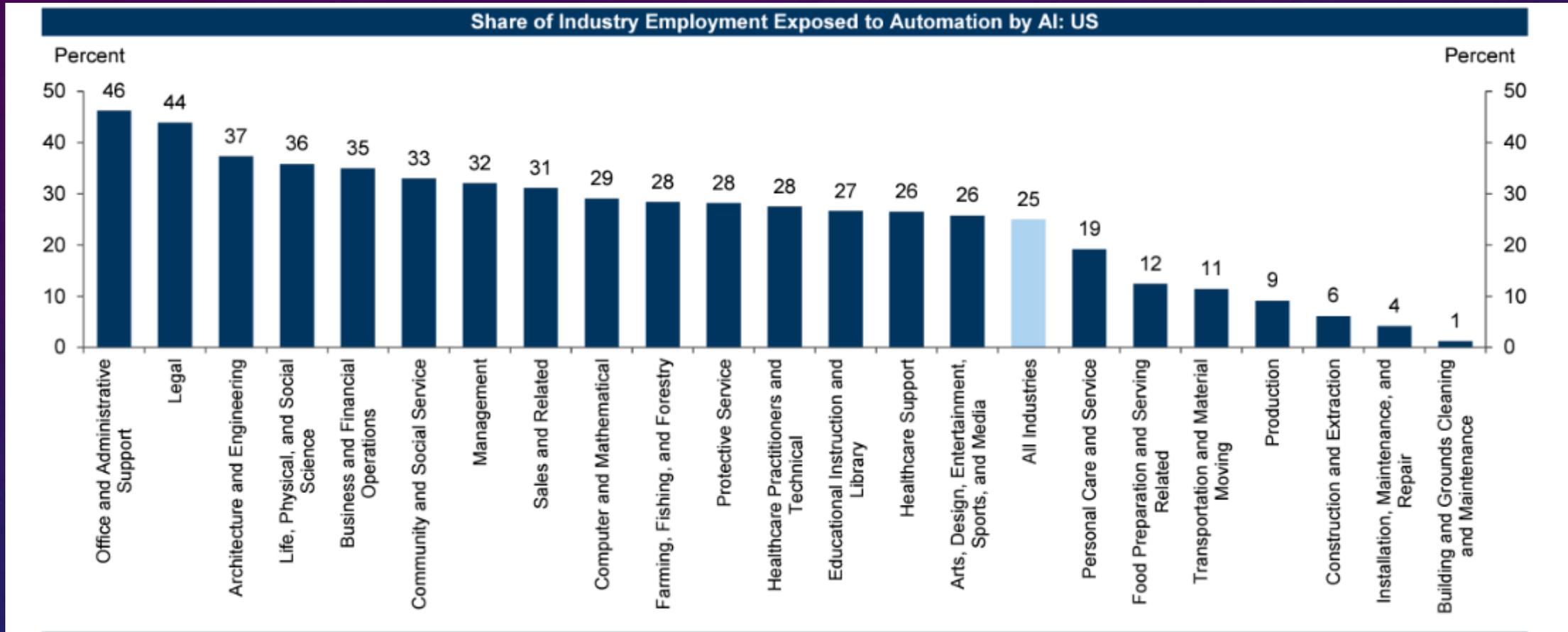
アートディレクター	シナリオライター
アナウンサー	ジュエリーデザイナー
インテリアコーディネーター	スタイリスト
インテリアデザイナー	ディスクジョッキー
観光バスガイド	デスク(新聞などの)
グラフィックデザイナー	テレビカメラマン
ゲームクリエイター	ファッションデザイナー
外科医	フリーライター
広告ディレクター	マーケティングリサーチャー
コピーライター	旅行会社カウンター係
作詞家 作曲家	レコードプロデューサー
雑誌編集者	録音エンジニア

Source:野村総研ニュースリリース(2015年12月2日)より

- ①定型業務ではない
- ②特定の領域を超えている
- ③コミュニケーションが必要

これらがAI時代にもなくなる仕事の要件だった。

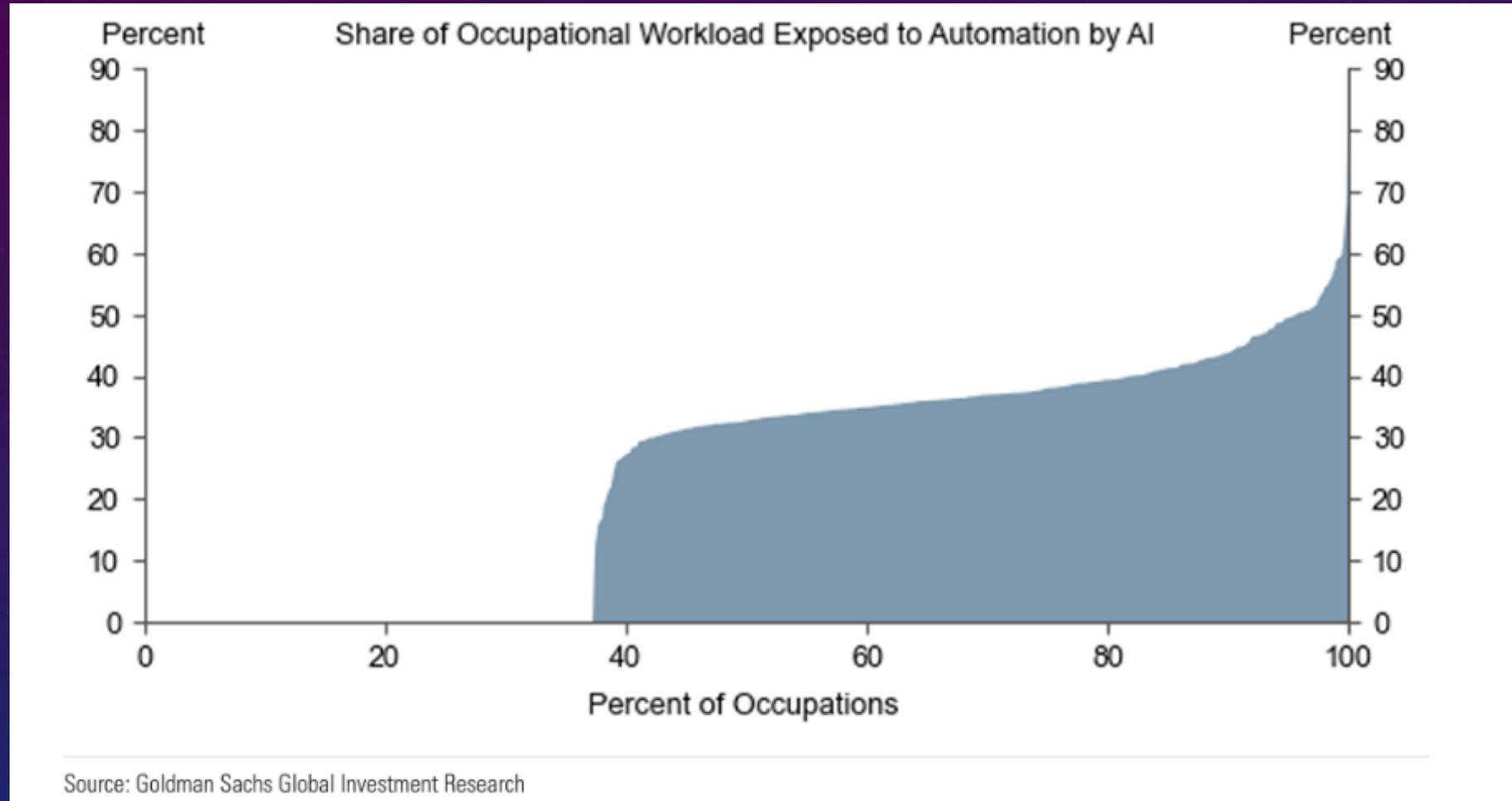
米国では現在の職務(Work Task)の1/4がAIによって自動化される



Source: Goldman Sachs Economics Research 26 March 2023 | 9:05PM EDT

Global Economics Analyst The Potentially Large Effects of Artificial Intelligence on Economic Growth (Joseph Briggs/Devesh Kodnani)

米国では現在の業務量(Workload)の約2/3がAIによって影響を受ける



Source: Goldman Sachs Economics Research 26 March 2023 | 9:05PM EDT
Global Economics Analyst The Potentially Large Effects of Artificial Intelligence on Economic Growth
(Joseph Briggs/Devesh Kodnani)

AIに奪われる仕事とAIで生まれる仕事

AIに奪われる仕事

ソフトウェアエンジニア(プログラマー)

量産型のイラストレーター・ライター
翻訳家・通訳

専門系ホワイトカラー(法務・会計など)

ホワイトカラー補助(秘書・リサーチャー)

AIで生まれる仕事

最先端のAIを開発・追及する研究者

ビジネス現場にテクノロジーを応用する
企画者・エンジニア

AIを保守・管理する(エンジニア／法務)

AIができない想像性に特化する人



ChatGPTはAIやプログラミングの「民主化」

誰でもが使いこなすことで「有能」になれる

下剋上

(誰でも使いこなせば「有能」に。

「有能」と思われていた人が「平均」に。)

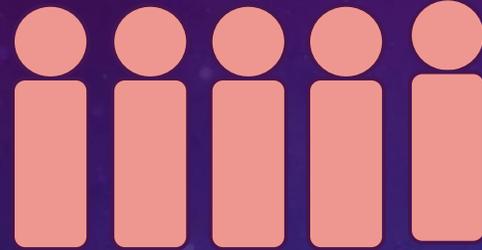
生成AIによってホワイトカラーに何が起こるのか(仮説)

STEP0

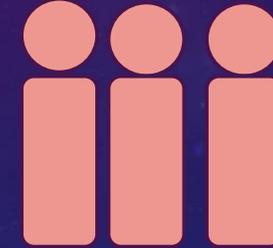


生成AIによってホワイトカラーに何が起こるのか(仮説) STEP1

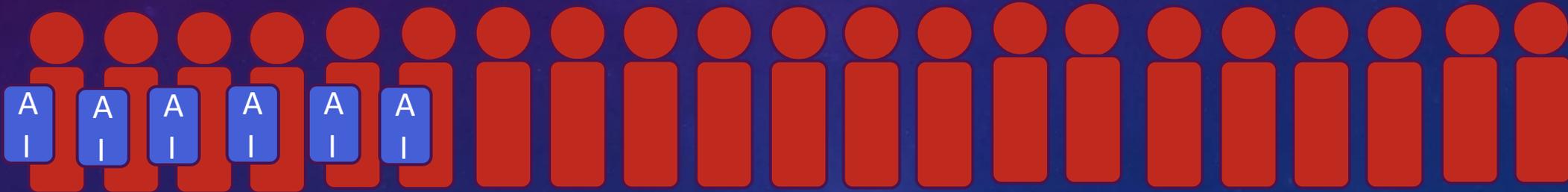
本当にクリエイティブな
トップの専門家



有能とされていた
スタッフ



ちょっとだけ
有能な専門家



普通の人たち

AIを使いこなす術を身につけた人

AIを使いこなす術を身につけなかった人

生成AIによってホワイトカラーに何が起こるのか(仮説) STEP2

本当にクリエイティブな
トップの専門家



希少価値がなくなって
(誰でもできる仕事になって)価値が下がる



有能とされていた
スタッフ

ちょっとだけ
有能な専門家

普通のひとたち

平均以下の仕事しか
できないため
価値が下がる

ホワイトカラーには厳しい時代がやってきた
DXを身につけなければ「平均」以下に



DX人材育成のためには継続的な実践と知識の更新の環境が不可欠

人財の
成長(価値創造)と
ウェルビーイング



実践によるトライ&エラー

更新

実際に使って
試せる環境

常に新しいことを学べる環境
(継続的な学び)

こういう職場でなければ
人が採用できない。

特にUターン 1ターンは絶望的

4つ目の理由

AIを含めて新しい技術を使わない職場は
人が採用できなくなる。

全体のまとめ

日本の人口が減っていく中、地方では生活基盤や産業が人手不足で維持できない。

現在の世の中は「正解のない」VUCAの時代。

地域のDXは日本政府の「最後の戦い」（あとがない）。

生成系AIはこれまでのAIよりも労働環境を大きく変える力を持っている。

人口が増えるというのは、ありえない。

過去の経験が役に立たないためデジタルツールを使ったすばやいデータ分析やオープンイノベーションなどが必要

地域のDXによる問題解決と自治体そのもののDX、それらを担うのは各自治体。

常に新しいAIなどのテクノロジーに触れて、学習し続けることが非常に重要。

労働人口減・地域商圈の縮小については、DXでそれを解決するという方策しかない。

この時代に対応するためにDXを契機に仕事のやり方を変える必要。

DXの体制・人材確保もそれぞれの自治体が用意する必要。

DXをやらない職場・新しいテクノロジーを学ばない職場では人が採用できなくなる

地域の企業・地域の高等教育機関・自治体の連携によってDXを地域に根付かせる

こわがらないで



Adobe Stock | #188304564

あなたなら できます



いつかできるから、今日 できる



始めの一步

DXを進めるための鉄則

- (1) 常にテクノロジーと環境は進化・変化しつづけますので、常に学ぶ姿勢と情報収集が必要です。(継続学習の原則)
- (2) 正解がない時代ですので、「必ず成功するやり方をしっかり作ってやる」という姿勢よりとりあえずやってみて、小さな失敗をできるだけ早くやり続けて正解を見出すという姿勢が必要です。(リーンスタートアップの原則／アジャイル開発の原則)
- (3) 過去にやってきたことは忘れて、本来やりたかったことの本質を見極め、その実現を中心に考えましょう。(デザイン・シンキングの原則)
- (4) DXはデジタルが重要なのではなく「仕事のやり方」の変革がメイン。これを進めるためには、首長から担当まで(役所だけでなく、議会・市民も)すべての人が「昭和のやり方」からの脱却が必要だということを理解することが必要です。(上から下まで全員理解の法則)

DXを進めるための鉄則

- (5) 正解が分からないので、実践した結果を含めて客観的なデータで説明する必要があります。なお、「統計学」の知識は必須です。(データ・統計重視の原則)
- (6) 外部との接点をつくりどんどん外部の情報を取り入れましょう。すべて自分たちでやろうとせず外のを借りましょう。(オープンイノベーションの原則)
- (7) 上司の役割は従来の指示型リーダーシップから、変革を推進するビジョナリーなリーダーシップへの移行が必要。(変革支持のリーダーシップの原則)
- (8) 長年やってきたことについて、すべて見直しましょう。(脱「昭和」の原則)



JUST DO IT.

ご清聴ありがとうございました